

# 平成25年度 SSHニュース 岡山理科大学附属高校 No.5

## 科学部の活動紹介

2013年5月24日

### ○身近な用水の水質浄化に関する調査をしています。

科学部部員：R2B荒川、藤原、松本、室山、石井、児新、K2A竹内  
R1A足立、石原、岩朝、田邊、細貝、光實、A1B藤土

指導：  
岡山大学環境理工学部  
環境管理工学 中嶋佳貴助教

旭川から取水後、農地や住宅地を流下する過程で用水の水質がどのように変化するかを調査しています(図1,2)。その中で、水質の汚染源や、反対に浄化作用の認められる地点を探し出します。

水質が浄化されている地点では、それがどのような要因で起こっているのかを明らかにし、水質浄化に役立てたいと考えています。

実験室では、水質浄化能力を持つ生き物や化学物質について研究しています。

5月11日に徳島大学で行われた生物系三学会で研究の成果を発表し、奨励賞を受賞しました(図3)。



図1 玉柏から宿本町、三野へと流下する旭川合同用水が研究フィールドです。

調査地点：玉柏から宿本町を抜け、三野へと流下する旭川合同用水と西川用水から7地点  
調査日程：毎月1回、朝10時～  
調査項目：COD、電気伝導度、pH、リン、窒素、流速、透視度、におい、川底の状態、など

学習会への参加も積極的に行っています。岡山大学で行われた児島湖流域フォーラムに参加し、児島湖流域で活動する様々な団体の事を学びました(図4)。

また、地域への貢献を目的として西川の清掃に参加し、地元の小学生と一緒に川の生き物観察も行いました(図5)。



図2 自作した6mのヒモを付けたピン球を流し、ヒモが張るまでの時間を計り流速を計算します。



図3 生物系三学会に参加し奨励賞を受賞



図4 児島湖流域フォーラムに参加

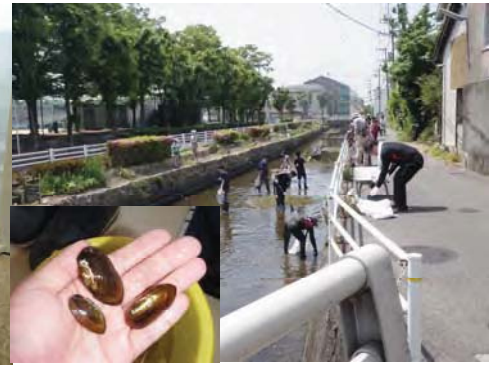


図5 西川の清掃活動に参加